

まちのエンガワ 通信 No.70

中野まちのエンガワプロジェクト、なかの育フェスへのお問合せ●Eメール/nakanoikufes@gmail.com●Tel090-4712-9319(中村)

第8回

なかの育フェス

2020年6月27日(土)~28日(日)

場所/なかのZERO西館

1F 美術ギャラリー1・学習室AB

2F 美術ギャラリー2・学習室1・和室

主催/中野まちのエンガワ・プロジェクト

なかのZERO 指定管理者

内容/ 子育て支援コーナー

アートワークショップ

まちづくり・中野の歴史

乳幼児親子のひろば

あそび場

参加募集は

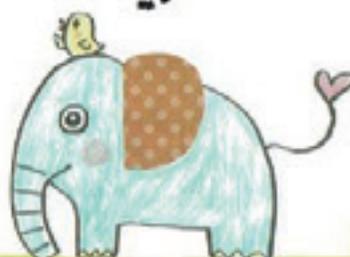
2月15日~

3月15日

受付!!

なかの育フェスとは?

●毎年6月に子ども・子育ての楽しい街をめざしているイベント。まずは6年間続けることで発足し、6年間無事終了。新規で運営委員が加わって再出発。新生なかの育フェスとして、8年目(第二期)となる。●なかのZERO西館を会場に、子育て支援、アート、パフォーマンス、遊び等の内容で様々なコーナー、ワークショップ、講座が並び複合的なイベント。●関わるメンバーや参加団体はおよそ40。子育て当事者のみならず、様々な年代で、立場の違うメンバーが支えるイベントとなっている。



なかの育フェス 募集が始まります!

●参加の募集内容は大きく分けて3種類あります。①出展ブース(団体の机を置く)②一定の時間の中で講座やワークショップ、パフォーマンスを行う。③ボランティア参加(全体の企画合わせた内容)●今回は3月



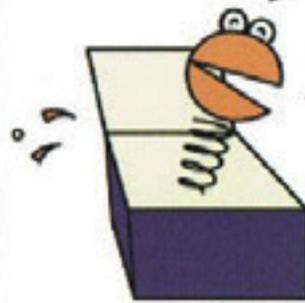
kekyo!

15日までに①の出展ブース参加②のブースを持たない参加の募集をします。●出展参加の部分で、料金を改定しました。①では、WSを有料で行う場合、1日につき500円となりました。(値下げ)②では、講座、WS、パフォーマンスを行う場合

第八回なかの育フェス

出展参加
説明会

あなたの団体にとつて
最適な参加のしかたを
一緒に考えます!



初参加の方対象

●加費/300円

2月17日(月)

午前11時~午後9時エカイエ

事前にご希望の参加時間をお知らせください。
お問い合わせ●nakanoikufes@gmail.com
090-4712-9319(中村)



エカイエは複数の人達が一緒に
支えて創る「カフェ」。育フェスや
エンガワ等のコミュニティの活動
の拠点にもなっています。
●中野区上高田1-34-1
電話03-3360-3330

原稿版

開催までの日程はこれ!!

日時と場所をチェック!!

2月

出展参加団体募集・説明会(初参加団体向け)

2月~3月

出展参加募集締め切り 3月15日

4月

●参加団体連絡会(初顔合わせ)
4月8日(水)夜間のみ/学習室2

5月

●参加団体連絡会(最終顔合わせ)
5月27日(水)夜間のみ/学習室2

6月

*準備WS
6月21日(日)午前~夜間/美術ギャラリー1
●事前準備
6月26日(金)午前~夜間
/美術ギャラリー1,2
/学習室1
/学習室A,B

※参加団体は「●」には必ず出席が参加条件になりますので、ご注意ください。

は、「2日間割引」がなくなり、1日につきそれぞれの出展料がかかる事になりました。●ボランティア参加の場合は、基本的に参加費は

かかりませんが、団体として紹介文等をPR媒体や、当日パンフレットに掲載を希望する場合は、2000円の参加費が必要です。

あそび村 忍者や妖怪が活躍!?

●1月22日、あそび村のメンバーのMTがおこなわれました。新たなプログラムとしてさまざまな素材で自由に工作できるコーナー、チャレンジコーナー、忍者修行コーナー等の案

domo!



が出されています。●江戸時代に流行ったボードゲームで、幼児でも参加できる簡単な対戦ゲーム「十六武蔵」が登場する予定。今後対戦相手をしてくれるボランティアも募集します。



一億総バベット活躍時代にささぐ、知っても得にならない連載

人形劇はヤバイ!?

2

記/中村法子
どんさい劇場バベットワークショップ

自分が見聞したり、体験した「人形劇」の事を、なんとなく書き綴っています。諸説あるのでご容赦のほどを。

人形劇といえば、ギニョール!



ギニョール (Guignol) とは、1808年にフランスで行われた指人形芝居の主人公の名前。同じ形式でイタリアでは「ブルチネック」、イギリスでは「パンチ」が有名。現在はそれを主人公とした人形劇全体を指す総称としても使われている。

片手で指に頭や手をはめて動かす人形を日本では、ギニョールという。戦争中は「翼賛人形劇」として大活躍、戦後もそのまま児童文化の世界で君臨した。私が4歳ごろ(1950年代終わり)に、はじめてみた人形劇も、大学のサークルで作製した人形もコレだった。ギニョールの良さは、比較的作り易い。ところが実際、演技は難しい。サークルでの指の使い方は伝統的に「B」とされていたが、他の大学では「A」。フォームにこだわるか?動きを大事にするか?で、私は「A」に乗り換えた。人形の衣装を工夫して中指、薬指、小指を一緒に動かせるようにすると、歴然と違いがわかる。そしてあの尊敬する台湾の伝統人形劇の布袋戲の人形はこの形だった!!

(自分の指で確かめてみてください。)

